

令和 7 年第 2 6 回公安委員会会議録

| | | | | |
|------------|--|--|-----|--------|
| 日 時 | 自午後 1 時 3 0 分 1 1 月 6 日（木曜日） 至午後 4 時 0 0 分 | | 場 所 | 公安委員会室 |
| 会 議 出席者 | 公安委員 | 甲斐委員長 野口委員 小野委員 宮尾委員 吉田委員 | | |
| | 警察職員 | 本部長 警務部長 生活安全部長 交通部長 警備部長 情報通信部長 刑事部参事官 | | |

1 定例会議

白線の設置間隔を拡大した横断歩道の整備について（交通部）

警察本部から、横断歩道の様式を定める政令「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」の改正に伴い、今後、横断歩道の白線の間隔が拡大される新たな様式で整備予定の県下の横断歩道について報告が行われた。

公安委員から、広報の予定について質疑があり、警察本部から「新様式の横断歩道を設置した際に体験横断を計画しており、そのような機会を通じて広く県民に周知していきたい。」旨の説明があった。

また、公安委員から、横断歩道の様式変更に関して「スピードを出さないようにするためのイメージハンプ等、道路標示を増やす取組が進められている中、逆に、横断歩道については白線の本数を減らすことになるが、運転者側の視点で問題ないか。」旨の発言があり、警察本部から「交差点であれば信号機の設置があったり、交差点以外でも横断歩道があることを知らせる標識や路面のダイヤモンドマークの設置があるため、支障は無いと考えている。」旨の説明があった。

そのほか、警察本部から、音響信号機やエスコートゾーン（横断歩道中央部に設置する点字ブロック）が併設された場所での横断歩道の整備等、視覚障がい者の安全な横断について十分配慮する旨の説明が行われた。

第 2 報告・決裁等

- 1 特例風俗営業者に対する「特例認定」の取消処分についての決裁（生活環境課）
- 2 メール 1 1 0 番とアプリ 1 1 0 番の統合に向けた検討についての報告（通信指令課）
- 3 第 3 5 回熊本県暴力追放県民大会の開催についての報告（組織犯罪対策課）
- 4 熊本県殉難警察職員慰霊祭についての説明（厚生課）
- 5 科学捜査研究所業務視察（科学捜査研究所）
- 6 審査請求（R 7. No. 5）の受理についての決裁（公安委員会事務室）
- 7 意見・要望（R 7. No. 1 2）の受理についての決裁（公安委員会事務室）